


|   |   |  |
|---|---|--|
| <p>学校教育目標 「生き生きした 活力のある子」</p>  <h1>学校だより</h1> <p>さいたま市立大牧小学校</p> | <p>令和2年度<br/>5月号<br/>No.440<br/>令和2年5月1日<br/>発行</p> | <h2>5月の目標</h2> <p>◎室内の過ごし方を工夫しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を守って行動しよう。</li> <li>・校内では右側を歩こう。</li> </ul> |
|---|---|--|

ともにのびよう あいさつや返事がしっかりできる、むっしょう懸命学習に取り組む、おつくしく掃除の行き届いた、おがおのあふれる おお牧小学校

## 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして ～新学習指導要領でのスタートです～



コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業により、4月8日のみの登校から1か月がたち、緑豊かな大牧小学校も新緑の5月を迎えました。この間、ご家庭での生活が中心となりましたが、生活のリズムの形成等、子どもたちが健康に過ごせるようご配慮ご指導いただきましたこと、本当にありがとうございます。

この後も現状、5月末までの休校となりますが、「スタディ エッセンス」を活用しつつ、子どもたちとつながりながら、再開にあっては、子どもたちが待ちに待った新たな学年での生活を軌道に乗せ、目標やめあてに向かって様々な取組を進めていきたいと思ひます。

さて、出鼻をくじかれた形となりましたが、本年度より、新学習指導要領に基づく教育が始まることはご存知のことと思ひます。この新しい学習指導要領では、獲得を目指す力として次の3点を挙げています。

- ①生きて働く「知識・技能の習得」
- ②道の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等の育成」
- ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性の涵養」

これらの能力を培うため、必要な学習の形態として、所謂「アクティブ・ラーニング」（受け身的な学習から活動的で能動的な学習）への転換が挙げられています。今回の学習指導要領の改訂では、国が示す学習内容の基準となる各教科等の指導内容を見直し、「アクティブ・ラーニング」につながる、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すこととなっています。

「対話的な学び」とは、子ども同士の協働、教職員や地域の方々との対話、先人の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めることを重視しています。「深い学び」とは、習得・活用・探究という学びの家庭の中で、各教科等の特性に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考え、思いや考えをもとに想像したりすることに向かう学習のことです。もちろん、これらの学習はこれまでも小学校教育で、問題解決型の学習として重視してきた学習ですが、今回の改訂により、より一層の充実を目指すものとなっています。

本校でも「ともにのびよう あいうえ大牧小学校」の合言葉で、基礎基本を大切にしながら、なお一層、時代の変化に対応した主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「自分の思いや考えをもち、豊かに表現し、伝え合う児童の育成」に全教職員で一丸となって、研鑽を積んでまいります。

今後とも本校の教育にご理解ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。学校からの連絡を待たず、来校をお願いします。

「大牧小いじめ防止基本方針」に基づき、いじめは決して許されないことであり、してはいけないことと指導していきます。6月のいじめ撲滅強化月間に向け、ご家庭でも、思いやりの心をもって友だちを大切にすること等、話題にし、いじめについて話し合ってください。